

|               |   |
|---------------|---|
| オレンジスピリッツ     | 1 |
| VIVID 活動レポート  | 2 |
| 理事コラム         | 2 |
| VIVID 事業カレンダー | 3 |
| ひとこと通信        | 3 |
| 実習生の声・お知らせ    | 4 |

なんでも相談 毎週木曜日 午後1時から3時  
専用電話 03-6380-2015

特定非営利活動法人 VIVID (ヴィヴィ)  
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル601  
TEL&FAX 03-5849-4831  
Eメール hbd-vivid@coast.ocn.ne.jp  
HP <http://www.vivid.or.jp>

“VIVID”は高次脳機能障害者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

## オレンジスピリッツ

国立成育医療研究センター  
リハビリテーション科 医師 橋本 圭司



「オレンジクラブ」は、高次脳機能障害の当事者、そしてそれを必死に支えている御家族の力になりたい、そんな思いで、東京医科歯科大学難治疾患研究所の中村俊規教授（現、表参道こころのクリニック院長）をはじめとした少数精鋭の専門家とともに立ちあげ

た、当事者・家族ボランティア支援プログラムです。今振り返ってみると、あれこれ議論を重ねるより、まずは実践してみたら考える、出来ることから始めそれを伸ばすという精神が、当初から現場に息づいていたように思います。

私が2009年2月に国立成育医療センターに転勤になり、その後の活動をどうしようかと検討していた矢先に、オレンジクラブ⇔VIVIDのリハビリ公開講座のお話をいただきました。何としても、オレンジクラブのスピリットだけは継承し続けたいと思っていた私たちにとって、こんな有難いお話はありませんでした。2か月に1回の公開講座は、講座1で集団認知行動プログラム「羅心版」を実践し、講座2では各スタッフの講義といった内容でした。

自分に障害がある人も、同じ障害に苦しんでいる人を助けることができます。むしろ、同じ障害だからこそ、助けることができるのです。患者や周囲の人々は、障害があることを嘆き苦しむあまり、何とかもと通りに戻ることばかりにこだわってしまいがちになります。しかし、リハビリテーションの本当の意味は、もと通りに戻ることではなく、

そのような苦難に出会ったときに、いかにそれと向き合い、自分自身が、今日、明日から何が出来るかを問いかけることではないかと思うのです。

病気や障害に遭遇したことを、いつの日かプラスに考え、そのような経験をした自分にしかできない「何か」を見つける過程こそが、真のリハビリテーションと言えるのではないのでしょうか。

オレンジクラブで実践してきた高次脳機能障害者に対する「こころの支援」は、近年の医療制度の枠の中で維持することが難しい現状があります。しかしながら、当事者と人として向き合い、人として行動を起こすマインドがあれば、どのような制度の中でも、どんな環境であっても良いリハビリテーションを行うことができると私は信じています。

患者の障害や問題点を見つけ、それを無くそう、補おうと患者のお尻ばかりをたたき支援はもうやめにしようではありませんか。高次脳機能障害と向き合うリハビリテーション、その本当の対象は、それを取り巻く我々自身の心の中にあります。我々自身が変わろうとする勇氣、それこそがオレンジクラブから生み出されるべき「オレンジスピリッツ」であると考えています。そんな「オレンジスピリッツ」を心に抱くチャンスを与えてくださったVIVIDの皆さんに心からの感謝を捧げます。

オレンジクラブ⇔VIVID 公開リハビリプログラム  
2011年3月12日(土) 13時30分～16時 新宿けやき園  
羅心版・コラージュ療法体験 (新宿区百人町4-5-1)  
参加費 1,000円 詳しく VIVID 事務局へ

## ミニデイの様子

VIVIDでは居場所作り事業として、月2回ミニデイサービスを行っています。プログラムは生活リハビリを中心にゲームや音楽セラピー、また医療チームとの共催による公開講座「オレンジクラブ」を実施しています。



サンドウィッチ作り



新宿御苑にて

10月9日は栄養士と一緒にサンドウィッチを作り、昼食に家族と一緒に食べ「栄養の話」を聴きました。

また、11月には秋晴れの穏やかな一日、紅葉を見ながら新宿御苑を散策、イギリス

庭園で車座になりお弁当を食べ、日頃とは少し異なったミニデイの一日を過ごしました。

## セミナー開催報告

### 「高次脳機能障害者と家族の新しい生活の構築に向けて」

11月20日(土)午後1時30分から4時まで、新宿区立牛込筆筈町区民ホールで、「知って 支援 応援を！高次脳機能障害者と家族の新しい生活に向けて」をテーマに開催しました。講演と高次脳機能障害者の家族の体験発表があり、講師は長谷川幹先生(成城リハビリテーションクリニック医師 脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会代表)、家族の体験は、VIVIDのミニデイ利用者の高田健三さん、宮地和子さんが壇上で発表、ほかに太田三枝子さんが文章を寄せてくださいました。

当日の参加者は86名で、アンケートから次のような声がありました。

・医学的な話をわかりやすく、実例も含めて話していただきとても良かった。先生のお人柄か、とても温かいものが感じられる講義でした。

・「主体性」が重要という事を再認識致しました。地域での役割をこれから考えていきたいです。

・一番大切な家族の想い(本人の想い)をじわじわと感じました。会場にもご家族の方も多いようで、改めて自分に何ができるのか、何が必要か考えました。



### 高次脳機能障害者 状況調査アンケートを実施

当法人の高次脳機能障害者のサポート事業の実施は、試行から3年目になりました。しかし、高次脳機能障害については、まだまだ理解されていない面も多く、今後支援を進めるにあたっての状況把握を目的に、新宿区内を中心とした事業所、医療機関等230箇所を対象にアンケートを実施しました。(2010年9月～10月)

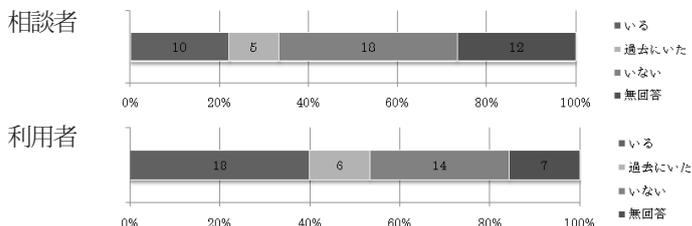
概要と集計結果の一部をご紹介します。

#### 調査の概要

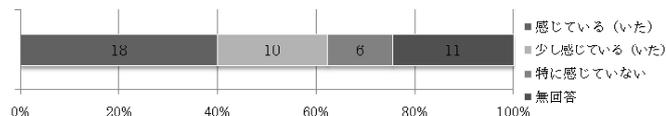
回答数 45件(回収率 20%)

集計結果の一部

・9月1日現在、相談者、利用者の中に高次脳機能障害者いらっしゃいますか



・高次脳機能障害者への支援で困難と感じていることはありますか



その他、ご意見の中から各事業所等では、障害への対応、支援体制など多くの課題を抱えていることが分かりました。

詳しくはHPでご覧下さい。

## 理事 コラム

VIVIDとの出会い、それは全くの偶然の産物でした。友人からあるグループが高次脳機能障害の人たちのためにディサービスを始めるにあたって、多少、医療の分かる人材が必要なので月1回程度の協力をとの依頼で快諾しました。看護師の経験がそんなに有るわけではないけれど、ケアマネジャーをしていた時、「高次脳機能障害」を持つ利用者さんの行き場探しにそのご家族ともども苦労した経験が後押ししたのでしょうか。

月1回が2回になり、そして理事として、今では、VIVIDの活動が私の生活のかなりの部分を占めるようになりました。

障害を持つ人々とその家族。人との出会いの不思議さを今更ながら深く感じます。こんな気持ちになるのは、2年間のミニデイ

の集大成として3月末の発表会で演じるきむらゆういち作「あらしのよるに」のせいかも知れません。暗闇の中で出会うオオカミの「ガブ」とヤギの「メイ」。声を出して読むと新たな感動が胸を覆います。思いやり、気遣い、友情……。

ミニデイの協力者の一人、込山さんがミニデイ参加者のひとつひとつの言葉を紡いで作詞、作曲をしてCDにして下った「あらしのよるに」のテーマ曲を聴きミニデイ参加者の一人ひとりの顔を思い浮かべながら、この原稿を書いています。

「あの日あなたに出逢って僕は愛を知りました」「希望 友情 想像 愛情」

ラア ラ ラア ラ ♪ ♪ ♪ (理事 北村 とし子)

# VIVID 事業カレンダー

## 活動実績

※なんでも相談（電話）毎週木曜日

- 8月** 11日 新宿区との打合せ  
14・28日 ミニデイサービス  
19日 「ほっと安心カフェ」見学
- 9月** 3日 新宿区障害者地域自立支援協議会研修  
7日 内部研修「ピアサポーターについて」  
11・25日 オレンジクラブ ミニデイサービス  
15日 新宿区との打合せ  
27日 都心障「高次脳機能障害ハンドブック」作業部会
- 10月** 6日 新宿区協働事業相互検証のための意見交換会  
9・23日 ミニデイサービス  
14日 新宿区との打ち合わせ  
14日 新宿区障害者地域自立支援協議会研修  
20日 新宿区窓口連絡会  
21日 社福むつみ会「ファロ」へ研修講師  
25日 都心障研修「高次脳機能障害の社会的行動障害のある方への対応と社会的支援」  
28日 新宿区ケアマネジメント研修 第1回
- 11月** 10日 新宿区との打ち合わせ  
10日 新宿区ケアマネジメント研修 第2回  
13・27日 オレンジクラブ ミニデイサービス  
16日 高次脳機能障害者と家族の会「ナノ」へ研修講師派遣  
17日 港区高次脳機能障害者理解促進事業講演会講師  
20日 第4回 VIVID セミナー開催（講師＝長谷川 幹氏）知って支援 応援を！「高次脳機能障害者と家族の新しい生活の構築に向けて」  
24日 都心障「高次脳機能障害ハンドブック」作業部会

## 12月

- 24日 VIVID 生活スキルプログラム研究会  
25日 新宿区ケアマネジメント研修 第3回  
29日 新宿区区協働事業第3者評価ヒアリングー協働支援会議  
6日 都心障 家族相談交流会  
8日 新宿区との打ち合わせ  
10日 新宿区ケアマネジメント研修 第4回  
10日 墨田区家族会認知リハビリプログラム見学  
11・25日 ミニデイサービス  
13日 新宿区障害者地域自立支援協議会 事例検討会参加  
15日 新宿区相談窓口連絡会参加  
21日 VIVID 生活スキルプログラム研究会  
22日 新宿区ケアマネジメント研修 第5回  
23日 ハートウォーミング北沢ハウス見学  
8・15日 ミニデイサービス オレンジクラブ  
12日 新宿区との打ち合わせ  
18日 ケアセンターふらっと見学  
20日 新宿区訪問介護事業所連絡会研修講師  
31日 第6号 VIVID LETTER 発行

## 1月

## 今後の主な予定

## 2月～ 3月

- 高次脳機能障害 なんでも相談（電話相談）  
毎週木曜日  
ミニデイサービス 第2・第4土曜日  
運営会議・ミニデイスタッフ会議  
第1土曜日  
新宿区障害者福祉課との打合せ  
第2水曜日  
新宿区協働事業実施内容の報告会 3月19日

## ひとこと通信

### ミニデイ利用者の投稿

### 今年の目標

私の今年の目標は“海外旅行”に行くことです。

思い返せば私の初海外は小学校6年生の時のハワイ。中学2年生ではアメリカ・シアトルに1ヶ月。高校3年生では凍えそうなバリ、大学2年で南仏へ1ヶ月。4年生の時には卒論を書くために母とタイ、マレーシア、シンガポールへ2週間。他にも中学2年生の冬に中学1年生のときに一緒だった女の子の家に行くのに韓国へ一人旅。高校のときの友達と台湾へ。さらにスキーでカナダに両親と数回。

渡航回数は30回。渡航国は13カ国になります。

ただ6年前2005年4月22日に会社で倒れて以来海外には行ってないので今年がんばってリハビリをして、ぜひ海外旅行に行ってみたいです。

（新宿区在住 大越 美希）

3年前交通事故、そして高次脳機能障害との闘い。事故後1年が過ぎたころ、高次脳機能障害からうつになる・・・苦悩の日々。

人生の歯車が狂い始める。

昨年 VIVID の皆さんと出会う。VIVID の皆さんからは、元気と生きる勇気を学んだ。

私は間もなく職場復帰する。

私には、未来に向けやらなければならない事がある。それは、事故前の自分自身を乗り越える事だ。これは私の残された人生の目標となることだろう。

職場復帰はそのための第一歩である。

（新宿区在住 宮川 正始）



## 実習生の声

私は現在、東京大学・筑波大学主催の市民後見人養成プロジェクトで成年後見等について学んでおります。その活動の一環で、今回 VIVID のミニデイサービスに何度か参加させていただきました。印象に残ることは、ご本人とご家族、そして VIVID のスタッフの三者がそれぞれ双方向に意思や気持ちを伝えていることでした。時にご本人とご家族の間を繋いだり、またご本人の本心をスタッフが引き出したりなど、一方通行でない関係だと感じました。

その基礎にあるのは、NPO 法人 JUTRA の橋本医師もおっしゃっていましたが、本人と周囲が一緒に考えていくことが高次脳機能障害のリハビリであるという考えだと感じました。ご本人の努力もさることながら、ご家族や周囲の方々のサポートなくしてはこの高次脳機能障害とともに生活をしていくことは大変なのだと思えます。

私事ですが、VIVID に参加し始めた直後に地元に住む伯母がくも膜下出血で倒れ、高次脳機能障害を発症しました。介護にあたる私の両親には、デイサービスで学んだことや自分なりに調べたことを伝えたり、また、私が今学んでいる成年後見制度を利用し父が後見人となる手続を進めようとしております。今後、私も両親を通じて高次脳機能障害と向き合うこととなりますが、VIVID で学んだことやご縁を生かしていきたいと思っております。

新宿区 山川知子

( 山川さんは 2010 年 10 月～12 月まで VIVID のミニデイサービスに実習生として参加しました。 )

## VIVID からのお願い

VIVID では、私たちの活動趣旨に賛同し、会員、賛助会員、寄付者になっていただける方を募集しています。また、VIVID の活動につきましては、当広報紙のほか、ホームページもぜひご覧ください。アドレスは次の通りです。

<http://www.vivid.or.jp>

|            |              |                             |
|------------|--------------|-----------------------------|
| 会員         | 68 名         | ( 2011 年 1 月末現在の<br>会員の状況 ) |
| 賛助会員       | 26 名         |                             |
| 寄付 (8～1 月) | 2 名 30,000 円 |                             |

年会費

会員 個人 5,000 円 団体 10,000 円

賛助会員 個人 5,000 円 団体 10,000 円

寄付 金額に規定はありません

当広報紙「VIVID LETTER」(ヴィヴィレター)をお読みになった感想、活動にたいすご要望、ご質問等お寄せください。「ひとこと通信」「会員の声」への投稿もお待ちしております。

TEL・FAX 03-5849-4831

## お知らせ



### 発表会 VIVID ミニデイプログラムより

VIVID のミニデイでは、様々なプログラムを実施していますが、今年度最終回は、利用者全員が参加して、次のような発表会を開きます。ご家族、友人他大勢の方に来ていただき楽しい一日となるよう、舞台装置、衣裳、効果音等工夫をこらして練習中です。ご期待ください。どなたでもどうぞ!!

日時 3月26日(土) 午後1時～

場所 新宿けやき園(新宿区百人町4-5-1)

内容 音楽と朗読(「あらしのよるに」) 楽器演奏  
ダンス等

### 三枝子さんの楽しいクッキング

美味しい食事は誰でも気持ちが楽しくなるものです。そんなお料理を皆で作りました。

11月3日(水)文化の日、VIVIDのミニデイ利用者が新宿区大久保地域センター調理室に集いました。この企画はご家族の太田三枝子さんが声を掛け、当事者が作った料理を家族と一緒にいただくというものです。当初は母の日に企画しましたが、都合で11月になりました。

当日の参加者は当事者8名、ご家族6名、VIVIDから2名が参加、料理の間、ご家族は別の場所でティータイムを楽しみました。

献立は、ちらしずし、豆腐ときのこの味噌汁、春菊のおひたし、さつまいもの茶きんしぼりで、太田さんの指導で野菜を洗う、ゆでる、包丁で刻むなどの作業を分担し、2時間ほどで料理ができあがりました。

早速今年も1月29日(土)同所ですといん作りに挑戦し、温まりました。



## 編集後記

西高東低の厳しい冷え込みが続いていますが、皆様お変わりありませんか。1月末、編集者は大風邪を引き、レターの発行が遅れるのではないかとヤキモキ、ま、何とか間に合いました。

回数も頁数も少ない広報紙ですが、会員、支援者の方々にお届けしたい情報が詰まっています。

まさに、オレンジスピリッツならぬ、VIVID スピリッツです。是非ご感想を。(あ)